

No.4 6 2025 年 10 月 12 日				
三位一体後第十七主日礼拝				
説教『パンくずに宿る恵み』				
吉丸初美師				
司会 大野友子さん				
奏楽 白石百合子さん				
招詞 ローマ人への手紙10章17節				
主の祈 (5 6 4)				
讃 詠 5 4 6				
交読詩編 詩 5 編				
祈 禱				
讃美歌 21ー 4 5 0				
使徒信条 (5 6 6)				
聖書 マタイ福音書 15章21～28節				
説教 (口語訳24頁、新共同訳30頁)				
『パンくずに宿る恵み』				
祈 禱				
讃美歌 21ー 1 6 5				
献金				
感謝				
報告				
頌栄 5 4 4				
祝 禱				
後 奏				
次週の礼拝 (三位一体後第十八主日礼拝)				
説教『生きて働く信仰』				
ヤコブの手紙 2章14～26節				
招詞 マルコ福音書10章21、交読詩篇1編				
讃美歌546、21-153、21-552、539				
礼 拝 当 番				
今週 12 日 司会 大野友子さん				
次週 19 日 司会 安部愛さん				
会堂清掃奉仕 11月2日(金)				
コーヒータイムの後にいきます。				

本 日 の 集 会				
★教会学校 午前9時45分				
★コーヒータイム 礼拝後～				
それぞれの思いを語り合しましょう。				
今週の集会/スケジュール				
●めぐみ幼稚園芋ほり遠足 10月14日(火)10時～				
保護者の方と一緒に芋ほりをします🍠子どもたち				
保護者、保育者を覚えてお祈り下さい。				
S広島キリスト教信徒会墓苑合同礼拝 10月18日(土)				
14時～牛田墓苑で礼拝し個々人の教会の墓地を清掃				
します。覚えて是非ご参加ください。				
次週以降のスケジュール等				
★聖書を読む会 10月21日(火)10時30分～12時				
創世記を読んで、それぞれの思いや感想を語りあっ				
ています。是非一度参加されて下さい。				
●めぐみ幼稚園ミニ運動会 10月22日(水)9時30分～				
色んな競技を子どもたちと考えて行います。思い出に				
残る楽しい時間が過ごせるように、お祈り下さい。				
S広島拘置所教誨奉仕 10月22日(水)13時30分～16時				
★広島西分区交換講壇 10月26日(日)10時30分～				
吉丸伝道師は広島流川教会へ、当教会へは向井希夫				
牧師がご奉仕されます。今から覚えて出席されるようご				
努力下さい。				
●レコードコンサート 10月26日(日)13時～15時30分				
モーツァルト 交響曲第39番 変ホ長調 Kv.543				
ハイドン 交響曲第88番ト長調 Hob Iー88				
ブラームス 交響曲第 3番 ヘ長調 作品90				
+永眠者記念礼拝11月2日(日)10時30分～				
今年から写真を並べ永眠者の方々を覚えて礼拝を行				
いたいと思います。並べる方は写真を当日御持参下さい。				
追加で名簿に加える方がおられましたら、ご一報ください。				
先週の集会				
男 女 計				
教会学校				
主日礼拝				
聖書を読む会				

◇今週の説教要旨(三位一体後第十七主日礼拝)
『パンくずに宿る恵み』マタイ福音書15章21-28節
娘の癒しを求める異邦人の母の信仰は、私たちが見習う
必要があります。無視、拒絶、試みにも、屈する事なく強
靱な心を持った彼女を支えていたのは娘への愛でした。
マタイは「カナンの女」と古い敵対民族を想起させる呼
び方で紹介し、彼女の異邦人性や不利な立場を強調し
ています。しかし彼女は娘の悪霊をイエス様に追い出
してもらうために、必死に願い出ました。彼女は「主よ、ダビ
デの子」と呼びかけます。そこで、イエス様は沈黙されま
した。その沈黙を弟子たちは、異邦人である彼女を拒否
していると思ったようです。だから、彼女を邪魔者扱いし
強い口調で追い出すようにイエス様に願いました。それ
でも彼女は必死に食い下がりました。彼女は娘の苦しみ
を自分のこととして感じていました。だから彼女の心を動
かしていたのは愛でした。私たちは愛する者を救うた
めに彼女ほど真剣に必死になれるだろうか、と考えま
す。この時を逃したら娘は救われない。彼女は、確信と
希望を持っていた。ですから、イエス様から試みを受け
露骨に差別的な言葉をかけられても、彼女は侮辱と受け
取らずに、むしろ「主よ、そのとおりです」とへりくだ
ったのです。ここでは「ダビデの子」と言ってません。
彼女は主の憐れみを信じ続けていました。弟子たちが
感じたように、彼女の姿は「しつこくて、みつともな
い」と見られたのかもしれません。しかし、彼女は
「信仰とは何か」ということを弟子たちに知らせまし
た。主の沈黙は拒絶ではなく、彼女の信仰を育てる時
のようでした。「だれでも高ぶる者は低くされ、へり
くだる者は高められる」この御言葉の実例を弟子た
ちは目の当たりにしました。彼女は人に拒まれ見下
されても、神に対してへりくだり続けた。この姿は、
まさにこの御言葉を体現していたのです。彼女は
イエス様から拒絶され、試みられましたが最後には
栄誉を受けました。信仰の本質は高ぶらないこと。
自分んを小さくしてただ主にすがること。これが
「へりくだり」であって、その信仰が「高められ」
ます。私たちも、へりくだる信仰を持って主の
豊かなパンの恵みにすがり歩みたいと思います。